

施策評価シート（令和2年度 実績）

基本目標	新しい人の流れを生む魅力あるまちをつくる
------	----------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	特色ある教育活動の推進	評価者	教育部長
----	-------------	-----	------

施策内容	二宮町で進めている小中一貫教育等の特色ある教育活動は、子育て世代の転入も見据えた大きな魅力であるため、さらなる教育内容の充実を図ります。また、教育の質の向上のため、教職員の働き方改革も併せて推進していきます。		
------	--	--	--

主な事業	予算等事業名		行政評価結果	KPI達成への有効性	説明
	1	小中一貫教育研究事業（教育研究所経費）	適当	有効だった	研究が進み、児童生徒が主体となった対話的な授業づくりに取り組めた。
2	英語教育推進事業	良好	有効とは言えない	コロナの影響により、英検の受験率が伸びなかった。	
3	ICT教育推進事業	適当	有効だった	主体的に対話的な深い学びのための環境が整った。	
4	コミュニティ・スクール運営促進事業	適当	有効だった	活動の制限はあったが、コロナ禍での学校を支える取り組みが各学校運営協議会で行われた。	
5	地域学校協働活動推進事業	適当	有効だった	地域学校協働活動推進員が中心となりコロナ禍でも工夫した取り組みが行えた。	

重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	中学3年生の英検3級取得率（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	45.8	50.0	50.0	50.0	B
	実績		35.2			
	分析	コロナにより受験率が伸びなかったことが影響していると考え、一定の成果は示されている。				
方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案				

重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	75.6	76.1	76.6	77.0	-
	実績		コロナに伴い中止			
	分析	コロナによる学校休業のため学力状況調査は実施されず、数値の把握ができていない。				
方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案				

重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	放課後子ども教室の参加率（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	15.5	16.0	16.5	17.0	A
	実績		19.5			
	分析	コロナ禍にあったが、実施時期と実施方法の工夫により、多くの児童の参加があった。				
方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案				

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	各学校の状況に応じて、学校運営協議会の活動が活発になり、コミュニティ・スクールとして地域と学校が協力した児童生徒への取組みが進んだ。小中一貫教育についても、9年間のカリキュラムが出来上がり、基盤となる学級づくりの研究にも取り掛かるなど、特色ある教育活動に向け取組みが進んだ。
	課題	①小中一貫教育の基盤となる学級づくりの研究を一貫した取り組みとして5校全体で深めていくこと。 ②コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会がさらに主体的に活動できるように体制を整えること。また、地域によっては地域学校協働本部も視野に入れ、地域とともにある学校をさらに進めること。

	改善点 (課題番号 に対応)	①すでに5校において取り組んでいるが、計画的に進捗を管理するとともに、小中学校間のつながりを十分意識して取り組む。 ②地域学校協働活動推進員を中心に、地域への理解の促進と担い手を広げること努める。			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
		<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<p>●小中一貫教育は、子育て世代を中心に関心が高く、移住者にとっても好条件となること期待されるため、学校や保護者など関係者の理解を深め、着実に推進すべきである。一方で、小中一貫の特色が分かりづらいことから、町民にとってわかりやすい具体的な教育効果を示すことが重要である。</p> <p>●KPIに「運行指標」と「先行指標」が混在していることで、施策の進捗が分かりづらいため、小中一貫に対する効果をダイレクトに図ることができるKPIの設定が必要である。</p> <p>●英語教育、ICT教育等については、着実に進んでいると評価できる。教育の質の高さは町の魅力となり、住民の満足度向上や移住促進につながるため、引き続き取り組みを進める必要がある。</p>			

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

	予算等事業名		行政評価の 方向性	総合戦略	
				方向性	特記事項
各事業の 今後の方向性	1	小中一貫教育研究事業 (教育研究所経費) (担当課：教育総務課)	現状維持	継続推進	・学校や保護者など関係者の理解を深め、小中学校間のつながりを十分意識して、着実に推進する。 ・町民にとってわかりやすい具体的な教育効果を示せるように工夫する。
	2	英語教育推進事業 (担当課：教育総務課)	現状維持	継続推進	・整備された英語学習環境を活用し、更なる効果的な学習を推進する。
	3	ICT教育推進事業 (担当課：教育総務課)	現状維持	継続推進	・ICTを活用した効果的な学習を推進するとともに、安心して利用できるようルール等の整備を行う。
	4	コミュニティ・スクール運営 促進事業 (担当課：教育総務課)	現状維持	継続推進	・地域学校協働活動推進員を中心に、地域への理解の促進と担い手を広げること努める。
	5	地域学校協働活動推進 事業 (担当課：生涯学習課)	現状維持	継続推進	・地域学校協働活動推進員を中心とした企画運営を引き続き行うとともに、恒久的な活動となるよう手法を検討する。